

綾川町第2次総合振興計画

ダイジェスト版

綾川町に暮らすすべてのひとが

笑顔で暮らせるために

新たな総合振興計画を策定しました。



平成29年3月
綾川町



計画の構成と期間

基本構想(10年)

目指すべきまちの姿を明確にする
とともに、その実現のために必要
なまちづくりの方向性を示してい
ます。

基本計画(10年)

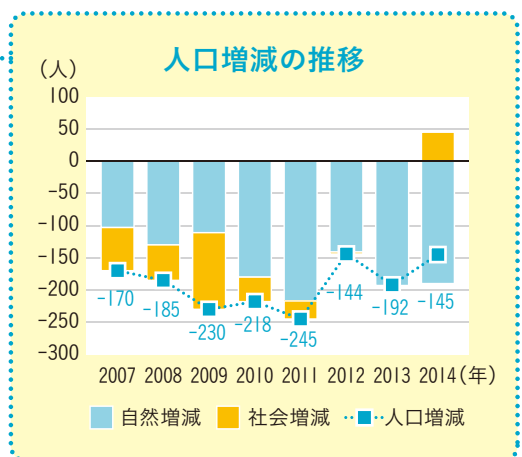
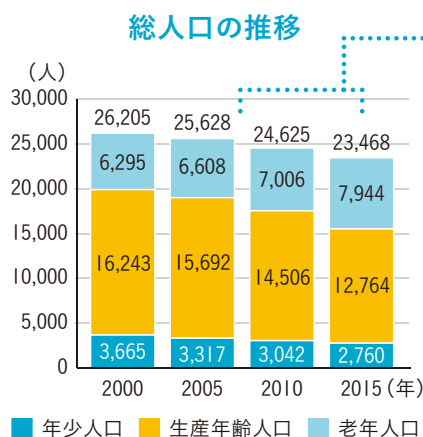
まちづくりの将来像と基本となる
考え方に沿った必要な施策の方向
と内容を体系的に示しています。

実施計画(5年)

定めた施策を実行するため、各年
度における予算編成や事業執行の
具体的な指針となるものを示して
います。

綾川町の人口

綾川町の人口は、2000（平
成 12）年以降、減少傾向
にあり、2015（平成 27）
年には 23,468 人となって
います。自然減（死亡＞
出生）が続く一方で、近
年は転入者の増加による
社会増（転入＞転出）と
なっています。



1



豊かな自然環境を身近に感じながら暮らせる

2



高松空港があることや交通網が充実していることから企業誘致や移住促進に強みを持っている

3



豊かな人間性と未来へ飛躍できる力を育む教育の振興

4



讃岐うどん発祥の地であることや豊富な農産品による観光資源がある

綾川町の 8つの 特徴

綾川町の暮らしの強みとして
8つの特徴があげられます。

5



菅原道真公ゆかりの滝宮天満宮など多くの歴史的な史跡や文化財がある

6



災害が少なく、企業立地に好条件がそろっている

7



大型商業施設をはじめ、ことடன்（高松琴平線）の駅が多く、利便性が高まっている

8



町内全域（山間部を含め）に光ファイバー網が整備され、企業誘致や移住促進に有利である

綾川町 100人委員会

総合振興計画策定にあたっては、まちづくりに関わる団体や個人からなる100人委員会を立ち上げ、施策提言を行いました。



綾川町がこれから目指したいこと

本町には、これまで守り育ててきた豊かな自然環境や歴史といった宝があります。そうした宝を守り育ててきたのは、本町の住民であり、まちを形成する地域資源です。

これからもそうした「綾川町」を構成するすべての良さを最大限に活かし、本町の明日を担う可能性に満ちた子どもたちから、懸命

に働き、いきいきとした大人たちまで、本町に住むすべての住民が幸せに笑顔で、ずっと住み続けたい「綾川町」を目指します。

また、本町に訪れた人たちにも笑顔になってもらえるまちを目指し、ここに将来像を掲げます。





誇り・愛着

一人づくり、地域づくり

自然、歴史、文化、産業など、本町には、多くの誇れる魅力があります。そして、本町で暮らす住民の一人ひとりも町にとって大きな財産です。

綾川町に対する誇りや愛着を醸成するためにも、ずっと住み続けたいと思える本町を支える、次世代の人づくり、地域づくりを進めます。



アグリフェスタあやがわ



環境学習

顔の見える関係が 続いているまち

性別、年齢に関わりなく、すべての住民がいきいきと活躍できるよう、NPO、ボランティアなどさまざまな団体にまちづくりの情報を提供するなどの支援を行い、住民と行政の協働によるまちづくりに努めます。

豊かな心と健やかな 心身を育むまち

まちの未来を担う子どもたちのために、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たしながら連携することにより、子どもたちの健全な育成に努めます。伝統・文化を未来へ継承するとともに、美術・音楽・スポーツなど自主的な文化活動を支援し、生涯を通じて学ぶことができる環境を提供します。

魅力あふれる自然との 調和のとれるまち

森林環境・水環境や多様な生物の保全に努め、地球温暖化防止対策をはじめとする環境問題に取り組むため、ごみの減量化、再資源化の推進など、循環型社会を推進し、自然と共生できるようまちづくりに努めます。



おもいやり

— 安心づくり —

誰もが、住み慣れた地域で幸せに住み続けたいという願いを持っています。

子どもから高齢者まですべての住民が健康に暮らすことができ、安心して子どもたちを育てられるまちを実現するために、やさしさやおもいやりを持ったまちづくりを進めます。



生涯学習センター



町防災訓練

各世代がいきいき 暮らせるまち

住民一人ひとりが、自分にあった健康づくりに取り組めるよう、すべての人が生涯にわたって健やかで心豊かに生活することができる体制づくりに努めます。

また、本町でいつまでも安心して暮らせるように、地域医療体制や救急医療体制の充実を図ります。

安心して住み 続けられるまち

それぞれの地域においてこれまで進められてきた支え合いや助け合いに積極的な支援を行い、地域福祉の強化に努めます。

また、子どもを安心して産み育てることができる環境の充実、適正な社会保障の給付や福祉サービスの提供に努めます。

災害に強い、 安心して暮らせるまち

地域の身近な場所で、安全・安心を支える消防団や自主防災組織などの活動の支援や、住民への防災意識の啓発などにより、地域防災対策の強化に努めます。

また、住民が主体となった通学路の見守り活動など、防犯や安全の確保における活動への支援の強化に努めます。



元気

— 活気づくり・交流づくり —

本町の大きな特徴である農業を中心とした産業は、今後のまちづくりにおいて大切な要素の一つです。これまで守ってきた伝統と新たな産業の振興を図り、若者から高齢者まで多くの人が交流し、活気あふれる元気なまちづくりを推進します。



大型商業施設とラッピング電車



主基斎田お田植まつり

住みよい 明るいまち

誰もが住みよいまちをつくるために、公共交通体系、道路・橋梁、上下水道などの生活基盤の整備や、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めることで生活基盤の強化を図り、安全・快適な生活ができるように努めます。

ヒトとモノの行き交う にぎわいのあるまち

良好な交通アクセスを活かした商業・サービス業の振興や、広域的な観光振興を図るとともに、農業の担い手の育成・確保、商工連携や地産地消の拡大等により、持続的な力強い地域農業を目指します。
また、地域資源を活かした綾川ブランドを確立し、活力あるまちづくりに努めます。

自立した 地域経営のまち

多様化する住民ニーズに的確に対応するため、効率的な行政運営に努めます。
また、一層の行財政改革を行うことにより、時代のニーズに合った行政経営と、それを支える財政基盤の確立に努めます。



キープロジェクト

住まいる(smile)プロジェクト

1
😊

町への愛着を育もう!

転入者が増え、新たな綾川町の住民が増えている中で、さらなる定住促進をするために、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる「住み続けたいまち」として、住民のまちに対する愛着を育むことが重要です。

子ども、子育てへの支援

保育環境や各種助成、ふるさと教育の充実等

高齢者への支援

高齢者の在宅生活の支援、健康づくりの充実等

交流の促進

結婚への支援体制の強化、スポーツ大会の活用等

2
😊

町の魅力を発信しよう!

人口減少対策として、本町が有している魅力的な資源を活用し、町外からの移住者を獲得することや、一度まちを離れてしまった人へのUターン支援に取り組むことが大切です。

シティプロモーションの実施

町内外への効果的な情報発信等

特産品開発・ブランド化

地域の特産品の開発、綾川ブランドの創出等

移住・定住の促進

産業の振興対策、雇用の場の創出、移住者支援等

